令和３年 12 月５日発行　毎月１回５日発行　オイスカ通信 694 号　昭和 42 年 12 月 27 日　第三種郵便物認可　別紙

公益財団法人 オイスカ

FURUSATO！ 12 月号

～オイスカ四国のふるさとづくり～

母への感謝状を授かって

11月9日（火）の四国支部常任幹事会の際に、母の代理として永年会員の感謝状を泉会長より預かりました。その報告をした時の母の様子、言葉を書きたいと思います。

母、冨田治子（92歳）の部屋の机上に一枚の写真を常に置いています。平成元年、父が外務大臣賞（当時　三塚外務大臣）を頂いた時の写真で前中野良子総裁、外務大臣も御一緒です。その写真を見ながら「有難いね…個人で4人しかいない中の一人なの！お父さんの思いを繋いできていて良かった。これからも生きている限りはオイスカ会員だからね、頼んだよ」と。母の言葉に胸が熱くなりました。

母だけではなく多くの方々の長年の思い、支えによって今日のオイスカが繋がっている事が改めて分かり、オイスカの一職員としての責任や思いを強く感じました。この度の母への授賞、誠に有難うございました。（菅原）

竹林整備

（公財）香川県環境保全公社の助成を受けて、毎年恒例となっている竹林整備を実施しました。ここ綾川町内でも日本の多くの地域同様に、管理しきれない竹林があり、古い竹、倒れた竹が放置されています。そのような竹林を少しでもきれいにしたいと思い、活動を続けています。海外駐在していた時には、竹は貴重な資材であって、お金を払って購入するのが当たり前だったのですが、今の日本では邪魔者扱いで、残念に思います。毎年どんどん生えて来て、ぐっと成長する生命力を有効に生かしたいので、切った竹は竹粉にして、農地で利用しています。今後も自然の循環を生かした活動に取り組んでいきます。（安部）

大阪マラソンに参加します！

昨年はコロナの影響で中止になった大阪マラソンが、来年の2月27日（日）に開催されることになりました。コロナ対策で参加者を減らしての実施となりますが、オイスカの海岸林再生プロジェクトがチャリティーの対象となりますので、オイスカ職員だけでなく、会員さん、支援者の方々もチャリティーランナーとして参加して下さいます。目的は、名取市で育てて来た海岸林の管理費用の募金です。海岸林の維持のため、ぜひ募金にご協力下さい。（安部）

※募金はこちらから！

https://osaka-marathon.en-jine.com/projects/oisca/rewards/403

四国センターからは
私、安部が参加します！

貯水タンク　寄贈

11月20日（土）、三豊市財田町在住の石原　忍　様より500Ｌの農業用貯水タンクを寄贈いただきました。

野菜の栽培や樹木のかん水等に大切に使わせていただきます。本当にありがとうございます。

四国センターもユーチューブに進出！ web活動報告会

10月29日（金）に開催された、第10回web報告会「メルカリ寄付で支援～オイスカの持続可能な農業の現場をレポート～」はご覧いただけたでしょうか？まだ見ていないという方は、オイスカ公式ユーチューブにアップロードされていますので、是非ともご覧ください！

このweb報告会では四国研修センターを題材として、センターの紹介とサーキュラー・エコノミー活動について紹介をさせて頂きました。もちろん、センター活動を支えてくださっている四国支部やオイスカ会員さんの紹介もさせて頂いております。

（現在、メルカリ寄付額は2476円となっております。）

センターでは、お店で使用されなくなった「いりこ」や「出し殻」を頂き、畑の肥料や鶏の餌に使用することで、廃棄物を無くす循環型経済を実現しています。これがサーキュラー・エコノミー活動の一環なんですね♪

もし、ご自身の身の回りで必要なくなったものでも、他業種では必要のあるものに生まれ変わる機会があるかもしれません。今一度、ゴミを減らす取り組みを皆さんで考えていきましょう！！そして、メルカリ寄付もよろしくお願い致します！（山崎）

こちらのQRコードから動画をご覧ください！

記念すべき300回目の支部常任幹事会 ～若きボランティアリーダーが集結～

この度、（公財）オイスカ四国支部では、300回記念常任幹事会を開催しました。2年にも続くコロナ禍の中で感染者の拡大も落ち付き、支部内の9推進協議会の役員の出席のもと、久しぶりの会議となりました。今回のメインとしては、18歳～45歳までの若きボランティアリーダーたちの集団「オイスカ香川県青年会」の設立総会でした。

四国支部では、1980年12月に「青年会」を発足し、活発な活動を香川県を中心に海外に至るまで90年代まで続いていましたが、今は「元」青年会の面々が四国支部の中心になっています。そこで、再び四国支部の核になれる若きリーダーの人材育成を図るべく夏から準備を進めていました。40年前と時代の要求は違うかもしれませんが、オイスカが目指していることは昔も今も変わらない「全ての人々がさまざまな違いを乗り越えて共存し、地球上のあらゆる生命の基盤を守り育てようとする世界」であります。また、石井淑雄顧問の特別講演会では、『「私の時代」そして、青年会に期待するモノ』と題して、青年会にエールを送りました。

浪越大樹青年会会長は、「昭和の先輩たちが歩んできた背中をみながら、令和を歩んでいきたいです。」と力強い挨拶をしました。

今年60周年を迎えた、オイスカ本部。香川県青年会はこれから10年、60年をリーダーしていくパイオニアとして、地域はもちろん地球規模の環境問題や世界課題の解決を最終の目標として、取り組み持続可能な社会づくりに貢献していきたいと思います。（四国支部　チェ）

青年会のメンバーに向けて熱い講演をしてくださった石井顧問。

今後の活動について挨拶をする浪越会長。

OISCA × VALLE BOOKS

古本で！
「子供の森」計画サポートプロジェクト

「FURUSATO！」12 月号　発行
公益財団法人　オイスカ四国研修センター
〒761-2103　香川県綾歌郡綾川町陶 5179-1
TEL　087-876-3333　FAX　087-876-3334
E-mail; oiscastc@oisca.org

コロナが落ち着いて　久しぶりに香川県から飛び出しました！

高知県出張①「国際ふれあい広場」

10月31日（日）にオーテビア高知図書館にて開催された「国際ふれあい広場2021」にデニスさんと四国支部のチェさんと参加してきました。例年は研修生が参加していますが、今は研修生がいないので外国人のスタッフたちで行きました。

会場では、県内の国際関係団体10組による展示活動紹介や物品販売などをしました。私たちはセンター特製のジャムとパウンドケーキを販売しました。たくさんの人が買ってくれました。

このイベントにはいろいろな国の外国人が参加していました。高知県に住んでいるインドネシア人と話をしました。インドネシアとマレーシアは言語が大体同じなので久しぶりに母国語を使いました。

今回初めて参加しましたが、楽しかったです。オイスカ以外の国際団体がどんな活動をしているのか少し知ることができました。これからいろいろな人にオイスカを知ってもらうように啓発活動を積極的に行っていきたいです。（ビアン）

当日はハロウィンだったので、お菓子をもらいに来た子どもたちともたくさん交流をしました。

高知県出張②「大川村で下草刈り」

11月3日（水）に綾歌郡ライオンズクラブ（以下、綾歌郡ＬＣ）の村山好治会長他3名の役員の方々と、高知県の大川村のボランティアに行って来ました。

平成14年3月に綾歌郡ＬＣの創立35周年を記念して植樹した、植林地の下草刈りを行いました。当日は、絶好の秋晴れで作業するには少し暑いくらいの気温でした。

例年、研修センターの研修生も一緒に行って作業をしていましたが、コロナ禍のため昨年は中止、今年は研修センターの職員3名が参加しました。

研修センターを午前8時前に出発して、現場に午前10時に到着し、約2時間草刈機等で作業を行い、見ちがえるように綺麗になりました。

現場には、地元大川村の和田知士村長もお礼の挨拶においでくださいました。

作業終了後は、大川村の「白滝の里」という研修施設で大川黒牛と土佐はちきん地鶏のＢＢＱパーティーをして、綾歌郡ＬＣの方々と懇親を深めました。（小野）

高知県出張③「よんでんの森」

11月18日（木）、四国電力高知支店主催の「四万十よんでんの森」に参加しました。四万十町立北ノ川小学校の3・4年生6人と四国電力高知支店の皆さんで、間伐（木の伐採）や紅葉、イチョウの植樹を行いました。自然を堪能する作業を通して、子供達の楽しむ姿や過去に植樹されている木々の成長を感じ、心温まる時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました！

センターから現場までは、車で片道3時間の長旅でしたが小野所長・ビアンさんと共に運転を交代しながら道中の自然豊かな景色を堪能させて頂きました。来年は是非とも研修生を連れて行きたいですね！（山崎）

3年間お疲れ様でした！技能実習生フィイ帰国

11月11日（木）に技能実習生フィイ（インドネシア）の修了式を行いました。フィイは小豆島にある「小豆島ヘルシーランド株式会社」で2018年11月から研修を行いました。研修ではオリーブの栽培方法や収穫などを勉強しました。従業員の方も大変親切で、日本語も上達し、日本語能力試験の4級をとることができました。

修了式では「最初はオリーブについて何も知らなくて、大変でした。でも先輩達がいろいろ教えてくれて、作業にも慣れていきました。大変な時に日本に来たけれど、たくさん勉強することができました。帰国後は自分の畑で農業や牛を育ててみたいです。また自国のオイスカでボランティアもしたいと思います。本当にどうもありがとうございました。（スピーチ抜粋）」と上手にスピーチをしました。

お世話になった皆さま、どうもありがとうございました。今後の彼の活躍にご期待ください！（吉田）

研修修了おめでとう！
インドネシアに帰っても頑張ってね！

初めての九州西日本研修センター訪問

11月13日（土）に福岡県にある西日本研修センター（以下、西日本センター）で開催した「収穫感謝祭」の手伝いに山崎さんと行ってきました。イベント前日に西日本センターに行くと、職員、研修生の皆さんが準備でとても忙しそうでした。着いてからすぐ、イベント用のいすや机、テントなどの準備をしました。その後は、フィリピンの有名な食べ物「レチョン」（イノシシの丸焼き）の準備をしました。

当日は朝の4時から西日本センターのフィリピン出身の職員、研修生と一緒にイノシシを焼いていきました。全部で4頭のイノシシを焼いていきます。出来上がるまでに6時間かかりました。大変だったけど、この時間はフィリピンのことを思い出させる良い時間でもありました。

イベントが始まり、研修生やダンサーなどの多くの方によるステージパフォーマンスや、いろいろな食べ物の販売でとても賑わい、計1400人以上の人が参加してくれました。学生や地域の人々の協力があって成功することが出来ました。どこでもオイスカはいろいろな人に支えてもらっていることがわかりました。初めて参加して忙しかったけど楽しかったです。また手伝いにいきたいです。（デニス）

たくさんお客さんが来ていて
とても忙しかったです。

【レチョン作り】
イノシシの内臓をとって串にさしました。
こんがり焼けるまで回していきます。